

# 鹿屋市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生 総合戦略（概要）

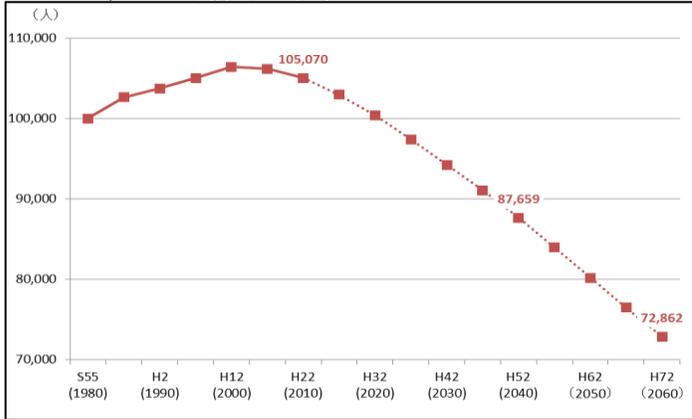


平成27年10月  
鹿 屋 市

# 鹿屋市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

## 1. 鹿屋市の将来人口予測

- 鹿屋市の人口の推移と将来予測
- ・本市の人口は、2000年（H12）から減少傾向
- ・このまま推移すると、2040年に8.7万人、2060年に7.2万人に！！



(出典)国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所等

## 2. 基本姿勢

- 大隅地域の拠点都市としての存在価値をさらに高める
- 若者に魅力的な住環境や雇用、教育環境を創造する
- 鹿屋の地域力を結集して地方創生に取り組む

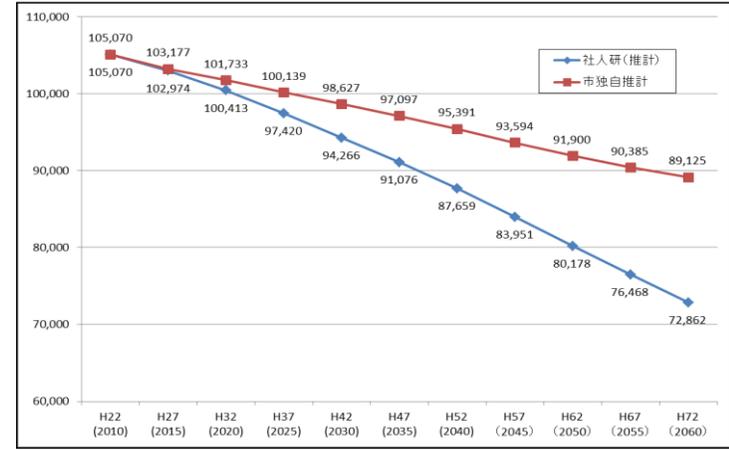
## 3. 人口減少に対応する3つの視点

- ①2030（平成42）年に合計特殊出生率を2.1となるように段階的に上げる
- ②2020（平成32）年までに転入・転出を均衡させる
- ③2060年に9万人程度の人口を維持する

## 4. 人口ビジョン

### 【将来人口目標】

- 2060年に9万人程度の人口を維持



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

## 5. 総合戦略の3つのポイント

- 1 人口減少に歯止めをかけ、一定程度の人口を維持する（国の目標（17%の減少）以内に留める）
- 2 人口を増やす・維持するために自然増を基本とする
- 3 社会増には「雇用の場」と「住みよい住環境」が必要となる

### ■ 推進体制

- 官民連携体制／鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者委員会
- 庁内体制／鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会、専門部会
- 市民参画／本気で語ろう会、鹿屋市1,000人の応援団等

## 6. 4つの基本目標

- 基本目標1 やってみたいしごとができるまちへ
  - ・第一次産業の強化
  - ・企業誘致、起業支援
- 基本目標2 いつでも訪れやすいまちへ
  - ・定住の促進
  - ・交流人口の拡大（健康・スポーツ、観光振興）
- 基本目標3 子育てしやすいまちへ
  - ・結婚・出産・子育て ・魅力ある教育の提供
- 基本目標4 未来につながる住みよいまちへ
  - ・地域・世代が未来につながるまちづくり
  - ・きれいで快適なまちづくり
  - ・コンパクトなまちづくり
  - ・地域と地域を結ぶまちづくり
  - ・高齢者にやさしいまちづくり

### ■ 計画期間

- 2015年度～2019年度（H27年度～H31年度）

## 7. 主なKPI

	主なKPI	基準値(H26)	目標値(H31)
■基本目標1 やってみたいしごとができるまちへ	・高校新規卒業者の市内就職数 ・小規模企業立地件数	97人 —	150人 10社
■基本目標2 いつでも訪れやすいまちへ	・入込客数 ・スポーツ合宿受入者数	約147万人 16,865人	約150万人 20,000人
■基本目標3 子育てしやすいまちへ	・合計特殊出生率 ・全国学力学習状況調査(全国平均比較)	1.93 -5.8～ -3.8	1.98 +1
■基本目標4 未来につながる住みよいまちへ	・空き店舗活用数 ・冠水箇所 ・鹿屋市1,000人の応援団	2 58 —	10 35 1,000人

